

平成23年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	高感度X線CCDとスーパーミラーによる観測と宇宙進化の研究
研究代表者	常深 博
審査の所見	<p>軟 X 線領域での全天撮像観測は、今や天文学に欠かせない主要な分野である。すなわち X 線天文学の基礎データを提供し、天文学の発展に大きく寄与してきた。しかし、硬 X 線全天撮像観測は技術的困難さ故に未踏の領域であった。一方で硬 X 線は、宇宙 X 線の中でも最も大きなエネルギーを占めており、宇宙の進化・構造解明には欠かせない帯域であることは疑いない。本研究は、今まで培ってきた位置検出型硬 X 線検出器と硬 X 線撮像望遠鏡の技術開発の実績と成果に立脚して、硬 X 線での全天撮像観測に初めて挑戦しようとする野心的なものであり、新しい分野の開拓に繋がる可能性が高い。応募者の本テーマに関する研究実績は世界でも指折りである。二機の小型衛星の編隊飛行（FFAST）という宇宙航空研究開発機構（JAXA）の小型衛星計画に依存するという点で実現に不確定性を危惧する意見もあったが、本計画が観測装置の開発を促進させ、宇宙観測用として実現されれば、日本だけでなく、広く世界に打って出ることができる。以上の点を勘案して、特別推進研究として推進することが適当と考えられた。</p>